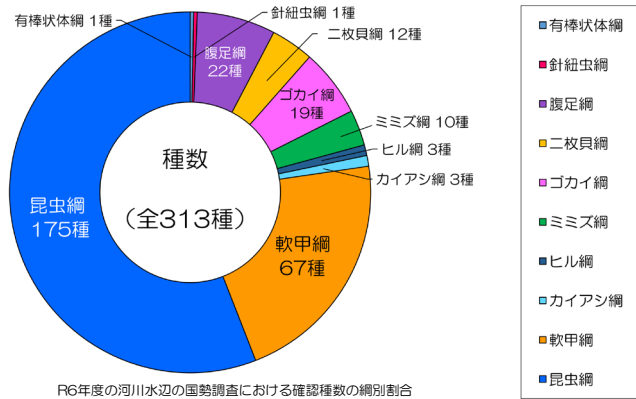


底生動物

最新（R6年度）の河川水辺の国勢調査では313種の底生動物が確認されており、このうち重要種（絶滅が危惧されている貴重な生物）は62種がみつかっています。

下流の汽水域（潮の満ち引きの影響を受ける場所）では、干潟やヨシ原などが広がり、タケノコカワニナなどの貝類やシオマネキ・カワスナガニなどのカニ類等が生息しています。五ヶ瀬川河口域は干潟の生物多様性が高く、日本の重要湿地に選ばれ、特に友内川については、宮崎県の重要生息地に指定されています（※）。

中上流の淡水域では、瀬・淵・ワンド、水際の植物帯などさまざまな環境がみられ、海と川を回遊するテナガエビなどのエビ類やオナガサナエなどのトンボ類の幼虫、コガタノゲンゴロウ、ツマキレオナガミズスマシなど多くの水生昆虫が生息しています。



※重要湿地は環境省選定の「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」、重要生息地は「宮崎県野生動植物の保護に関する条例」で指定された生息地

生息環境



干 潟



ヨシ原



瀬



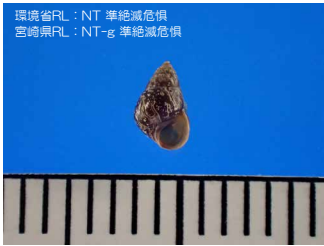
ワンド

五ヶ瀬川水系に生息する重要な生物や特徴的な生物



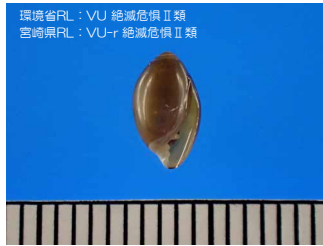
種名：タケノコカワニナ
汽水域の干潟の砂泥底に生息する巻貝です。
形がタケノコに似ています。

宮崎県RL：NT-r 準絶滅危惧



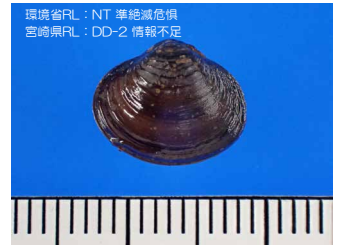
種名：クリロカワザンショウガイ
汽水域のヨシ原でみられる小さな巻貝です。
河口の柔らかい泥が堆積しているところに生息しています。

環境省RL：NT 準絶滅危惧
宮崎県RL：NT-g 準絶滅危惧



種名：ナラビオカミミガイ
汽水域のヨシ原でみられる小さな巻貝です。
海苔線付近の流木の下で限られた環境に生息しています。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：VU-r 絶滅危惧Ⅱ類



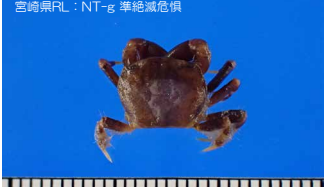
種名：ヤマトシジミ
汽水域の干潟の砂泥底に生息する二枚貝です。
水産資源としても利用されている種です。

環境省RL：NT 準絶滅危惧
宮崎県RL：DD-2 情報不足



種名：テナガエビ
回遊性で、成体は淡水域の清流に生息するエビです。
流れの速い瀬の石の下などに生息しています。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：CR-g 絶滅危惧ⅠA類



種名：カワスナガニ
汽水域の清流に生息するトンボの幼虫（ヤゴ）です。
川底の礫のすき間に隠れて生息しています。

環境省RL：NT 準絶滅危惧
宮崎県RL：NT-r 準絶滅危惧



種名：ヒメヤマトオサガニ
汽水域の干潟でみられるカニです。
砂泥底に浅い巣穴を掘って生息しています。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：OT-1 その他の保護上重要な種



種名：ハクセンシオマネキ
汽水域の干潟の砂泥底に巣穴を掘って生息するカニです。
片方のハサミが大きく、体は灰色を帯びているのが特徴です。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：EN-r 絶滅危惧ⅠB類



種名：シオマネキ
汽水域の干潟やヨシ原に巣穴を掘って生息するカニです。
片方のハサミが大きく体が赤色を帯びているのが特徴です。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：CR-g 絶滅危惧ⅠA類



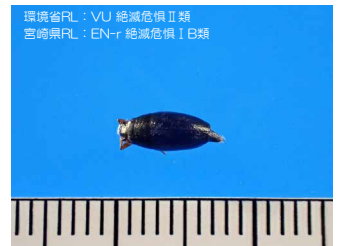
種名：オナガサナエ
淡水域の清流に生息するトンボの幼虫（ヤゴ）です。
幼虫は流れのある砂礫底、成虫は山林などで生活します。

環境省RL：NT 準絶滅危惧
宮崎県RL：NT-r 準絶滅危惧



種名：コガタノゲンゴロウ
淡水域の植物が生えたワンドなどでみられるゲンゴロウです。
腹面が暗味を帯びているのが特徴です。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：OT-1 その他の保護上重要な種



種名：ツマキレオナガミズスマシ
淡水域の水がきれいなワンドなどでみられるミズスマシです。
水面に浮いて高速で旋回しながら遊泳します。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類
宮崎県RL：EN-r 絶滅危惧ⅠB類